



『ワークライフバランス を考える』

「ワークライフバランス」とは仕事と生活との比率と捉えられがちです。しかし、本来は一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方を選択・実現することであり、そのような社会を目指すことを目的とするものです。

その意義やメリットについて理解を深め、働き方の見直しや働きやすい職場について考えてみましょう。今回は、中国地方で男性の視点から男女共同参画に取り組むお二人を講師にお迎えして、セミナーを行います。



「職場環境調査から見えてきた共同参画の課題」

かみづる ひさひこ

県立広島大学地域基盤研究機構 教授 上水流 久彦

県立広島女子大学国際文化学部助手、県立広島大学地域連携センター助手、同講師、同准教授から現職。

現在、広島県男女共同参画審議会委員（委員長代理）を兼務。これまでに安芸高田市の第1次、第2次の「安芸高田市多文化共生推進プラン」策定委員会委員、広島県北部地域地方機関人権研修（女性の人権課題）講師などを歴任。専門は、文化人類学、地域文化論。

「父親を楽しもう～ファザーリングのすすめ～」

かたもと あきら

NPO法人ファザーリング・ジャパン中国 片元 彰

大学卒業後、大手製薬会社に勤務、新潟転勤と同時に「ファザーリングジャパンにいがた」を立ち上げ、その後退職。主夫として2人の男子の育児や妻の仕事を支えつつ、フリーライター兼主夫ブロガーとして活躍し2018年より現職。

これまでに新潟市男女共同参画審議会委員、広島県子ども子育て審議会委員、広島県男女共同参画審議会審議委員、公益財団法人ひろしまこども夢財団評議委員などを歴任。自治体や企業、教育機関などで講師として活躍。日本テレビ「NEWS ZERO」など各種メディアでも紹介されている。



日 時：令和3年2月18日（木）13：30～15：50

開催方法：オンライン配信（zoom）

対 象：本学の教職員、大学院生、学部生、
産学官ダイバーシティ推進協議会メンバー

定 員：280名

申込方法：web申込フォームより申し込み

申込締切：令和3年2月4日（木）



申込フォーム